令和３年５月１日

くらしのメニュー おたより 107号

私のひとりごと　　石丸博巳

依然として、コロナの感染は衰えません。と言うより変異型ウイルスの猛威がすごいことになっています。大人もさることながら、最近は小学生の子供たちまで感染者が続出している状態です。福井県も連日の感染者増で「福井県独自の緊急事態宣言」が発令されました。（どうでもよいことですが、テレビなどでは「発出」と言い、福井新聞では「発令」と書いてあります。どのように違うのかが分かりません？）連休明けまでとなっていますが、これから先どうなっていくのやらと心配です。

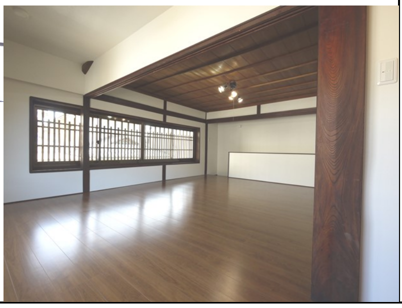
三国祭も規模を縮小して開催することになりましたが、開催できるのかが心配になります。オリンピックだってそうですね。菅さんは「緊急事態宣言とオリンピックの開催は関係ありません」なんて言ってるけど、国民感情は一切無視で突っ走ってるって感じです。

でも、この前テレビで病気を克服して頑張り、優勝した池江璃花子の姿や、マスターズゴルフで優勝した松山英樹の活躍を見てしまうと、何とかしてオリンピック出来たらいいなとも思ってしまいます。

私も６８才、ワクチンの連絡なんて全くないし、５月になると本当にクーポンが来るのかも当てになりません。「国民が安心安全なオリンピックを」と言っていますが、何をもって本当に安心で安全と言えるのかを国民の前に表明してもらいたいと思います。　４月２２日

上　昔ながらの和室の風情

素敵なロゴマーク



出村北前茶屋
落ち着いた２階の雰囲気

右　階段横の大広間

今月の写真紹介

古民家リノベーション
ＮＰＯ法人　出村みらいプロジェクト様

施主様の言葉

私たちの住む三国湊九頭竜川河口右岸は、かつて「滝谷出村」と呼ばれていました。

北前船の交易で賑わった地域の人達が、これからの時代を生き生きと暮らして欲しいという願いから、地元の有志で立ち上げたのが「出村みらいプロジェクト」です。

そして、「集う場所が欲しい」と言う地域の方々からの要望を受け、大正１２年に建てられた古民家をリノベーションして茶屋を作ることになりました。

コンセプトは「つながる、楽しむ、支えあう」。地元の老若男女はもちろん、出村地区を訪れた人たちが気軽に立ち寄り、そこで交流が生まれることを願って作ったのが「出村北前茶屋」です。

大正時代に建てられ、長年空き家であったため劣化が激しかった建物が、古き良き雰囲気を残しながらも素敵な茶屋に生まれ変わりました。

１階はコーヒーや軽食を楽しんでいただけるカフェスペース、２階はギャラリーとしてご利用いただけるレンタルスペースとなっています。

地域のお年寄りを初め、皆様がくつろげるリラックススペースとして、是非ご利用いただけることを願います。

出村みらいプロジェクト　代表　高森房子様

いつまでも安心して暮らせますように

株式会社 石丸ハウスセンター
一級建築士事務所

TEL 82-5533
FAX 82-5537

〒913-0044 福井県坂井市三国町山王4丁目5-31　ホームページ http://ishimaru-housecenter.co.jp

お知らせ

「出村北前茶屋」はみくに地区まちづくり協議会が、街なかでお年寄りが元気に暮らして戴けるように開催している「まちなかサロン」事業の一つです。三国駅前西坂万寿店の隣でも「まちなかサロン」が開催されています。是非、お立ち寄りください。